

黒松内ブナセンター賞講演会

(歌才自然の家, 10-11st March, 2007)

黒松内でのブナ研究の成果を黒松内の皆さんに報告してきました。

今年も黒松内ブナセンター賞講演会がやってきました。昨年一年、学生共々、黒松内の皆さんにお世話になったお礼の代わりに、研究成果を発表して、皆さんと交流です(いつも美味しいお酒と海の幸・山の幸、ありがとうございます)。写真はブナセンター長の高橋さん、北海道環境財団理事長の辻井達一先生、山田くん、斎藤です。



斎藤は「遺伝子の発現でブナの声は聞けないか？」と題して、ブナの遺伝子研究について紹介しました。4年生の山田くんが「ブナの衰退と遺伝子発現」と題して昨年の研究成果を発表してくれました。町民のみなさんが対象と言うことで、山田くんは勝手の違いに戸惑ったみたいですが、お客さんが代われば説明の仕方でも代わることを勉強できたと思います！

今年の冬は降雪・積雪ともに少なく、春が早そうです。南斜面では、地面が顔を覗かせていました。このまま雪が少なく暖かいようだと、例年よりも開葉が半月以上早いのでは？

(写真は黒松内町添別ブナ林)

